

がっこう ほけん いんかい

◇11月21日、学校保健委員会がひらかれました！

★今年も、6年生対象に1次救命処置「BLS」をおこないました。

自分の命、身近な人の命も大切にしたいという思い、命にたいして無関心になってほしくないという思いもあって、救急法をおこなっています。菫小の子供たちみんなが、命を大切にできる人に育ってほしいと願っています。



～感想～

※救急法をやってみて、練習なのにとっても疲れて2分が長く感じました。実際の時にこの経験、ちしきをいかしつつ、一人でも一個の命でもかけがえのないそんざいなので、勇気もち、困っている人々がいたら助けたいと思います。(6-3 佐藤幹太)

※わたしは今日の授業で命を守る行動がどれだけすごいことなのかを知りました。目の前に人がたおれている時の自分の行動で、一つの命が守られるとしたら、どれだけすごいことかと思いました。これからわたしが大人になっていく中で、自分の愛する人もそれ以外の人のためにも、命を救う行動をしていきたいです。(6-4 金刺里緒)

◇3年生と5年生に「しかきょうしつ」がひらかれました。

★11月14日、伊豆の国市の「しかえいせいしさん」にきていただき、3年生と5年生に「しかきょうしつ」がひらかれました。『むし歯さんは、口の中でうんちをします。それが「しこう」＝「プラーク」とよばれているものです。そしておしっこもします。それが「さん」とよばれるものです。これがむし歯の原因になります。この「しこう」はスクラムをくんでいるから、ぶくぶくうがいだけではとれません。だから「はみがき」が大切なのです。』口の中にはむし歯さんが、たくさんたくさんいます。しっかり歯をみがいて、むし歯さんをげきたいしましょう！



↑みがきのこしが、あかくなるよ！



↓しかえいせいしさん



↑はみがき、たのしいね。

保護者 様

◇11月22日、ふれあい学級で学校歯科医の堀江先生が、 笑顔になる生活、口の中の健康についてお話してくださいました。

※20年、30年前の自分を思い出してみてください。目の前の子供は自分に似ていませんか？自分の気持ちだけでなく、子供の気持ちになって考えてみてください。

※家庭の中に、いつも楽しくて明るい人がいてくれるといい。子供が起きたら「おはよう」帰ってきたら「おかえりなさい」とニコッと笑って言ってあげてほしい。

※子供も親も、夫婦も…人を変えたいと思ったら、まず自分が変わること、人にしてほしいことをしてあげよう。

※8020運動だけでなく、最近は「オーラルフレイル予防」という言葉が出てきている。オーラルフレイルというのは、口の中の衰えを予防するという。物を食べる機能、話す機能、飲み込む機能の衰えを予防する。

※蕪小の子供たちの歯科に関する数値はとても良いが、中学になると途端に悪くなる。小学校のうちにケアする習慣を身につけておくことが大事。これも、やらせるのではなく、親が自分の姿を見せることが大切。



①アレルギー疾患(気管支ぜん息、食物アレルギー・

アナフィラキシー)を有する児童への対応について

アレルギー疾患(気管支ぜん息、食物アレルギー・アナフィラキシー)を有する児童について学校生活管理指導表を活用した対応を行っています。継続でなく、新規に管理や配慮の必要がある場合には、学校生活管理指導表を提出していただくための手続きを行いますので、12月中旬に学級担任までご連絡ください。継続者については後日、書類を配付させていただきますので継続の手続きをお願いします。(希望の方には面談を行う予定です。また、改めてご連絡いたします。)

②冬休み前に、「冬休み前の治療の勧めについて」のおたよりを出します。

この保健だよりが配布される時点で、まだ専門医への受診結果を提出いただいていない人にお知らせしていきます。

すでに、治療は行ったけれど、紙をなくしてしまった、出し忘れていたという方は、お知らせください。

ぜひ、冬休みの期間を利用して受診されますようお願いいたします。

③感染症の心配な季節がやってきました。いまのところ、蕪山小学校ではインフルエンザの流行はありませんが、対応の流れが変わっています。懇談会や、ほけんだよりでも説明してありますが、蕪山小学校のホームページにも様式の変更について載せてありますので、ご確認をお願いします。

また、インフルエンザの罹患証明書(10月16日配布済みの学校配布用)が蕪山小学校のホームページからダウンロードできるようになりました。証明書は病院でももらえますが、病院用には保護者の署名捺印の欄がありませんので、下の余白部分に「署名捺印」を忘れずに提出してください。

治癒した後は、罹患証明書を持っての登校となります。忘れのないようお願いします。